

安全な水を提供する！

－日本の水リサイクル技術をインドネシアへ－

国際協力機構（JICA）は3月17日、千代田工販株式会社（代表取締役社長 大山巖）とインドネシア国における「紫外線殺菌装置を用いたジャカルタ特別州水リサイクル事業調査（中小企業連携促進）」にかかる業務委託契約を締結しました。

近年、堅調な経済成長を続けるインドネシアの首都ジャカルタでは、工業団地、大型商業施設が次々と建設され、水需要が急増する一方で、上水道整備の遅れにより多くの施設が地下水を汲み上げているため、地下水枯渇と地盤沈下が深刻化しています。この状況の下、ジャカルタ州政府はジャカルタ市内の事業所に対して水リサイクル事業を推進していますが、水質やシステムなどの技術的課題が一因となり、リサイクル化は遅々として進んでいない状況です。



【提案製品】



【地盤沈下により雨季には洪水となるジャカルタ市内】

上記の課題に対して、千代田工販株式会社は、1973年に日本で先駆けて開発した紫外線殺菌装置「ステリトロン」を活用し、水リサイクル事業を促進するための調査を提案しています。ステリトロンを中心とした水リサイクルシステムの構築により、質の高い再生水を安定的に提供することができます。これにより、今後更に需要が高まる水リサイクル事業に対して技術的課題を克服すると共に、技術の普及によってジャカルタ州政府が進める水リサイクルを促進し、地盤沈下などの課題解決へ貢献することが期待されます。

* この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携促進基礎調査」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外事業展開計画の策定を目的としています。2014年度は本年7月に公示を行い、61件の応募のうち10件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部 中小企業支援調査課

TEL 03-5226-9283 e-mail: pdtfs@jica.go.jp